

編集後記

前回編集後記を書いたのは2022年1月21日で「まん延防止等重点措置が16都県に適用され、まさに新型コロナウイルスパンデミック第6波の真ただ中でこの編集後記を書いています」と記していました。本日(2022年8月30日)の状況は第7波がピークアウトしはじめた感がありますが、いまだ新規感染者数の1週間平均は5週連続世界最多、死者数はアメリカに次いで2位とのことです。皆様も“コロナ疲れ”が溜まっていらっしゃることと思います。

とはいえ、1月から8月までの間に社会の状況は変わり、人々の活動制限は軽減され、学会も完全webから現地開催(+後日オンデマンドまたはハイブリッド)へと移行しつつあります。国外の学会への参加は、帰国前のPCR検査に引っかかるというリスクがありましたが、近日中にそれが不要になるそうで、日本だけ取り残されていた国際交流にも復活への兆しが見えてきました。学会に現地参加してみると、本当に直接交流することの重要性を実感します。パンデミックに

なってから社会人となり、眼科医となった皆さんには、国内外を問わず、早くこの学会の楽しさを味わっていただき、モチベーションにつなげていただきたいと切に願います。

さて、今回の特集は「アトピー性皮膚炎患者に対する眼科手術」です。アトピー性皮膚炎に対する治療の進歩に伴い眼合併症に関連する疾患背景も変化しています。本特集では、眼合併症の頻度や代表的合併症である白内障、緑内障、網膜剥離への対処法について解説をいただきました。また、総説は「白点症候群の特徴と鑑別のポイント」と「Vogt-小柳-原田病の治療——国内の知見と海外の趨勢」で、大変わかりやすくまとめていると思います。先生方におかれましては、診療の際の知識の整理とアップデートに本号をご活用いただければ幸いです。

次の編集後記を書く時には、どんな形であってもコロナを克服した状況になっていることを祈念するばかりです。
(根岸一乃・記)

編集：後藤 浩・飯田知弘・雑賀司珠也・門之園一明・石川 均・根岸一乃・福地健郎
編集顧問：所 敬・小口芳久・臼井正彦・澤 充・谷原秀信・岸 章治・三村 治・飯島裕幸・
坪田一男・富田剛司

「眼 科」 第64巻 第9号 9月号

2022年9月5日発行(毎月1回5日発行)

定価 3,080 円(本体 2,800 円+税 10%)

年間講読料金

定価 46,310 円(本体 42,100 円+税 10%)

[年間13冊(臨時増刊号を含む)の誌代]

[年間予約購読者に限り送料無料]

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

Tel 03 (3811) 7165 [編集室直通]

Tel 03 (3811) 7184 [営業部直通]

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 横山印刷株式会社 Tel 03 (3622) 6161

広告申込先 福田商店 Tel 06 (6941) 5600

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(TEL: 03-5244-5088, FAX: 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。